

先の八千代市市長選挙で市長公約には企業誘致について触れられた。八千代市には市街化調整区域が多く残っており活用の仕方次第ではまだまだ発展できるポテンシャルがあると考えています。企業誘致の先進事例から、石狩市を視察してきました。石狩市の企業誘致については原生林を開拓し平米3万円程度で大規模工業団地を形成しその8割が完売となっている。市内に駅などは無く交通の便は悪い立地であるが札幌が隣にあるという事で労働者にはそれほど困らないという事でした。順調に企業が張り付き拡大の計画はあるかとの質問に対し工業団地については用途区域の変更が難しく農地の転用などを考えているとのこと。八千代市でも農地の転用などが難しい案件があるため今後の考え方について説明を求めたところ「地域未来推進法」の活用を考えているとのこと。地域未来推進法とは地域の特性を活用した事業の生み出す経済波及効果に着目し、これを最大化しようとする地方公共団体の取組を支援するもの。国の基本方針に基づき、市町村及び都道府県は基本計画を策定し、国が同意。同意された基本計画に基づき、事業者が策定する地域経済牽引事業計画を都道府県知事が承認する流れとなる。この推進法については今後研究し行政と共有していきたいと考えます。



八千代市議会議員会派 市民クラブは 今、こんな 政策を推進 しています。

県立高校再活用
新中学校設立推進



道の駅リニューアル
令和8年秋OPEN



花の観光都市・花のまちづくり
桜シンポジウム 令和8年4月



市内小中学校体育館
エアコン設置



子育て支援対策2万円給付



勝田台駅南口ロータリー改修



デマンド交通の社会実験推進
市北部エリアの検討開始



緑が丘第二小学校
令和8年4月開校



水道料金削減



八千代市庁舎建て替え



マイナンバーカード利用による
公的書類取得手数料の割引



八千代市は千葉県内で唯一の防災道の駅に指定されました。苫小牧市の取り組みは災害時や平時に福祉トイレカーを活用することで先進的な事例となっています。障がい者を中心とした車椅子ユーザーの社会参加の促進を主目的に、苫小牧市の公用車として整備されました。平成30年度、北海道福祉のまちづくり賞を受賞した取り組みとなります。八千代市内のイベントでも障がい者の社会参加の促進につながる可能性があるという視点で視察してまいりました。この車両はバイオトイレを搭載しているため、1日の利用限度は50名となってしまいました。環境にはよいが実用性を考えると運用コストなども含めて慎重に検討せざるを得ない内容でありましたが、今後も研究を進めてまいります。

